

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スーパーキッズ宮ノ内南校		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されず、様々なイベントが企画されている。	季節を感じれるような内容を取り入れる。申し込み人数の統計をとって、人気のイベントを取り入れたり頻度を増やすようにしている。	運動が得意な児童が多いのでからだを使ったイベントや、自立度が高いので外出範囲を広げて企画するようにする。保護者や子どもから希望するイベントを可能な限り取り込んでいく
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、家庭と連携をとりながら支援している	帰りの送迎時に保護者と正職員で気になることを話し合える機会をつくったり、LINEですぐに連絡、報告できるようにしている	日々の連絡で写真や動画をより多く送信するようにする。保護者や支援員が気になることがあれば、学校とも連携を取りながら支援していく
3	保護者からの事業所の支援について満足度が高い	運動能力や発達段階によって事業所で取り組んでいる運動療育の内容やイベント内容を変更し、子どもたちが楽しめるように企画している。子どもの様子を伝えるために文面だけでなく、写真や動画を送信してより伝わりやすいように共有している。	保護者へアンケートを実施し、満足していただいていることを継続しながら改善して欲しいことやニーズを汲み取って支援内容・方法を柔軟に変えていくことを目指す

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がなく、家族への支援が少ない。また、きょうだい向けのイベントの開催や交流の機会がなく、きょうだいへの支援が少ない。	ニーズとして保護者からの声になかったり逆に交流を希望しないご意見もあったため、実施していなかった。	希望するしないに関わらず、自由に参加できる保護者会の実施を検討する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	必要と感じていないため実施していない。	希望があれば実施を検討する
3	事業所の設備、子どもへの分かりやすい情報伝達等の配慮が不十分な面もある	バリアフリーに関して保護者に周知していなかった。机の淵が尖っている。 床の壁紙が剥がれてきている	床の壁紙の補強、机の淵にはクッション性のあるカバーを用意し覆うようにする。建築基準法に基づいてバリアフリーの観点はクリアして運営している。